

平成16年4月28日
国土交通省中部地方整備局
独立行政法人水資源機構
中部支社

お 知 ら せ

1. 件 名

前線による出水における岩屋ダムの洪水調節効果について

2. 概 要

平成16年4月26日から27日にかけて、前線の通過に伴い、岐阜県は大雨に見舞われました。

木曽川水系馬瀬川の岩屋ダム流域では、4月26日深夜から28日早朝までに、累計約116mm（岩屋ダム流域平均雨量）の降雨を観測しました。特に、27日12時の時間最大雨量は約13mm、27日11時から27日14時までの3時間雨量は約34mmを記録しました。

この降雨により、岩屋ダムでは、27日15時40分に洪水流量（300m³/s）に達し、その後、流入量は、27日16時30分に最大約350m³/sとなりました。

岩屋ダムの貯水容量内への洪水貯留により、下流基準地点（東沓部地点）において、約1.2mの水位低減があったものと推定され、下流河川の洪水を軽減しました。

3. 雨 量

流域平均雨量 約116mm
（降り始めからの累計値：26日22時から28日5時まで）

ダム地点雨量 116mm
（降り始めからの累計値：26日22時から27日16時まで）

4. 岩屋ダム洪水調節量

ダム最大流入量 27日16時30分 約350m³/s

ダム最大放流量 28日 7時00分 約 0m³/s

洪水調節量 約350m³/s

5. 下流基準地点での効果推定値

下流基準地点である東沓部地点では、27日の出水による最高水位は、3.40m、流量は約290m³/sでした。

ダムが貯留を行わなかった場合の水位は、約4.60m、流量は、約600m³/sと推定されます。

ダムの貯水容量内に洪水を貯留することによって、東沓部地点で約1.2mの水位低減効果があったものと推定されました。

東沓部地点 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本線合流前約7.5kmの地点
住所：岐阜県下呂市金山町東沓部字前田会津1458

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ

7. 問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 岩屋ダム管理所 所長代理(技) 田原 秀光
電話 0576-35-2339

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所
流水調整課長 大塚 康司
電話 058-251-3234

注) 5. 下流基準地点での効果推定値には、岩屋ダムの下池として同時に建設され、運用されている馬瀬川第二ダム及び同発電所の運用も含まれています。

岩屋ダムの洪水調節状況(東沓部地点)

左岸

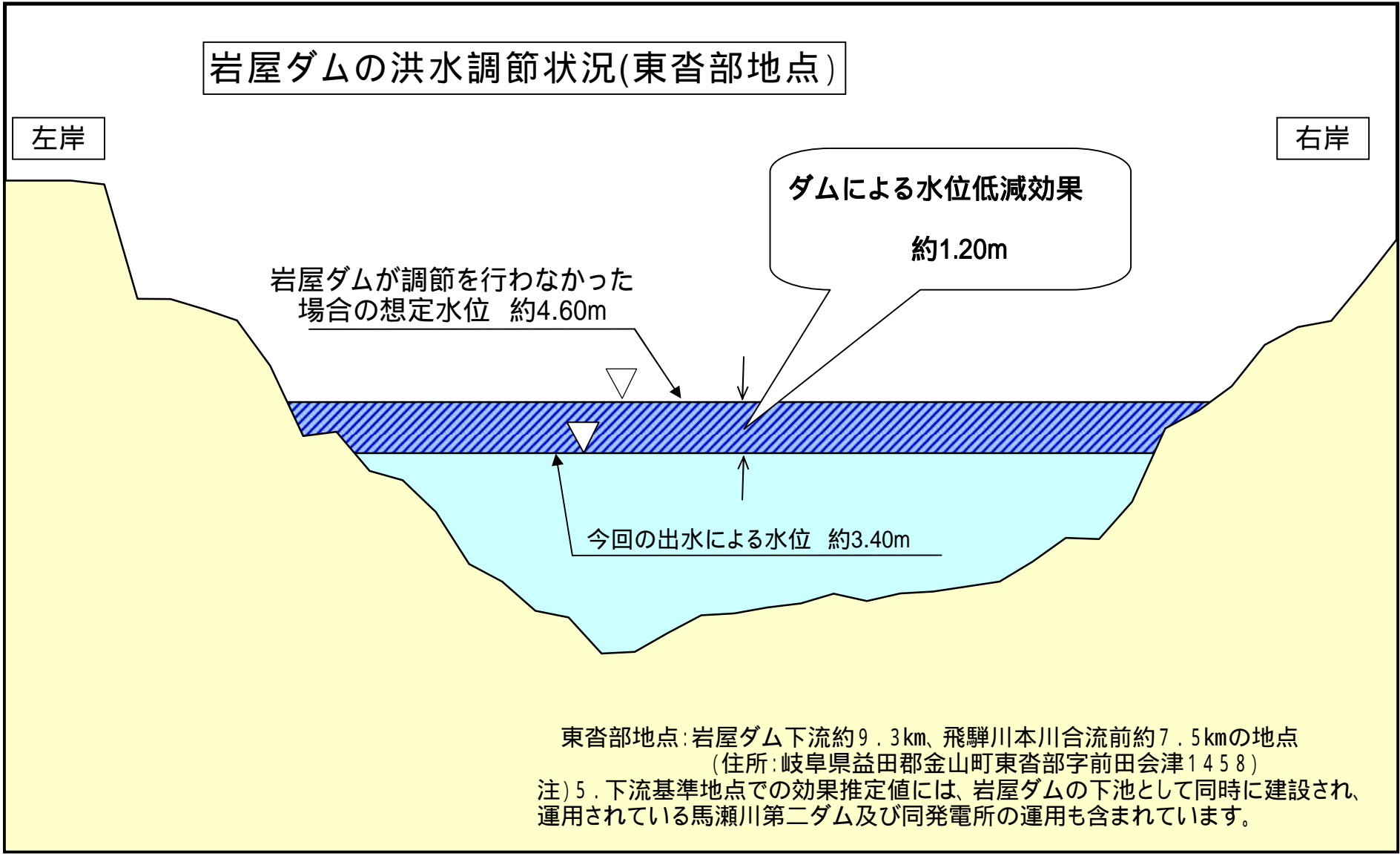
右岸

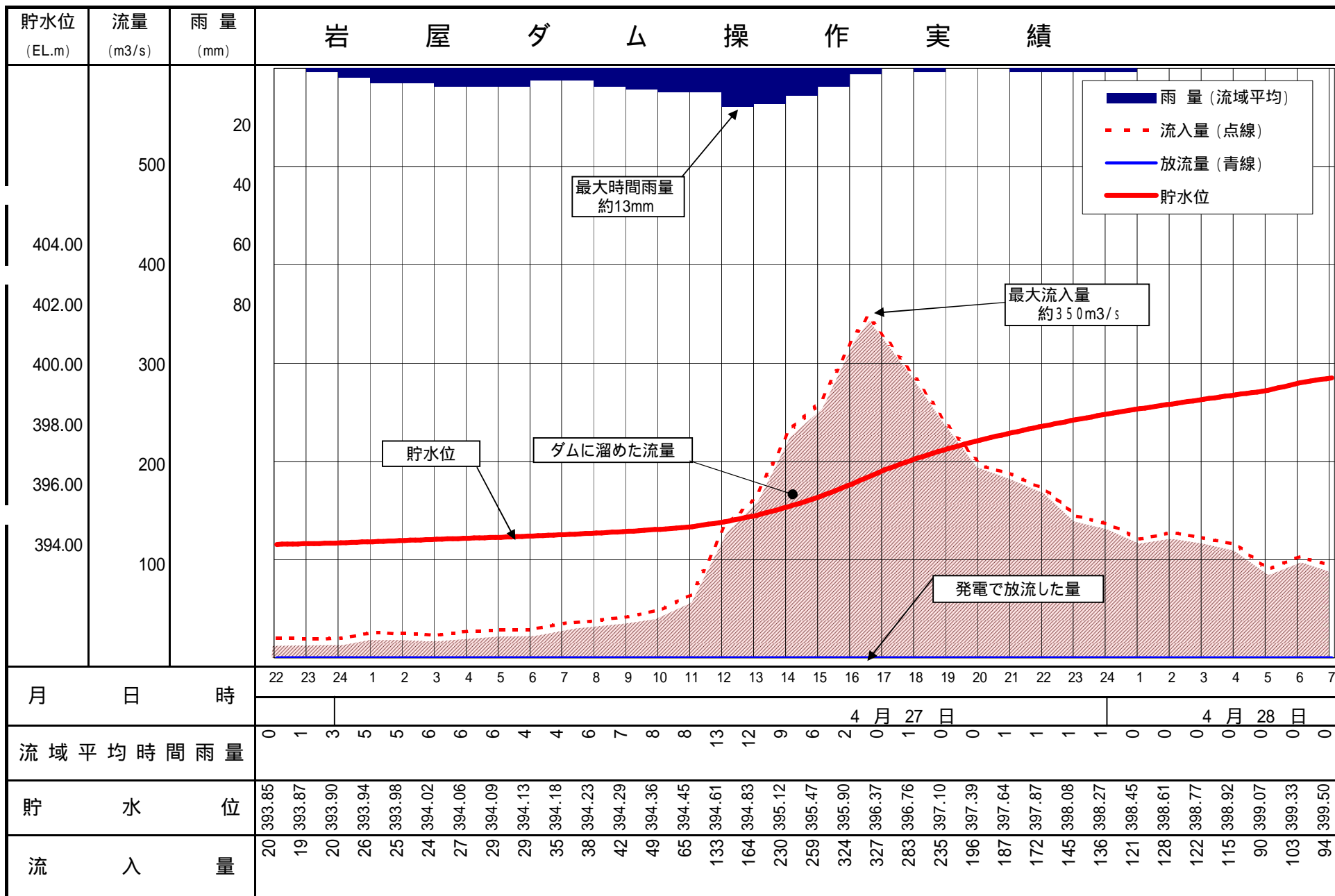
岩屋ダムが調節を行わなかった
場合の想定水位 約4.60m

ダムによる水位低減効果
約1.20m

今回の出水による水位 約3.40m

東沓部地点: 岩屋ダム下流約9.3km、飛騨川本川合流前約7.5kmの地点
(住所: 岐阜県益田郡金山町東沓部字前田会津1458)
注) 5. 下流基準地点での効果推定値には、岩屋ダムの下池として同時に建設され、
運用されている馬瀬川第二ダム及び同発電所の運用も含まれています。





全 放 流 量

